

新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査 分析結果

令和3年3月

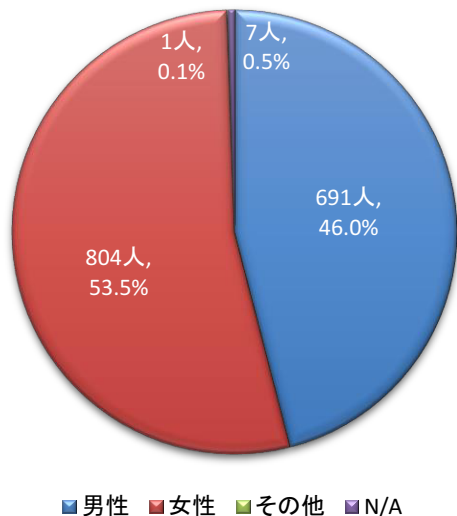
焼津市政策企画課

調査概要

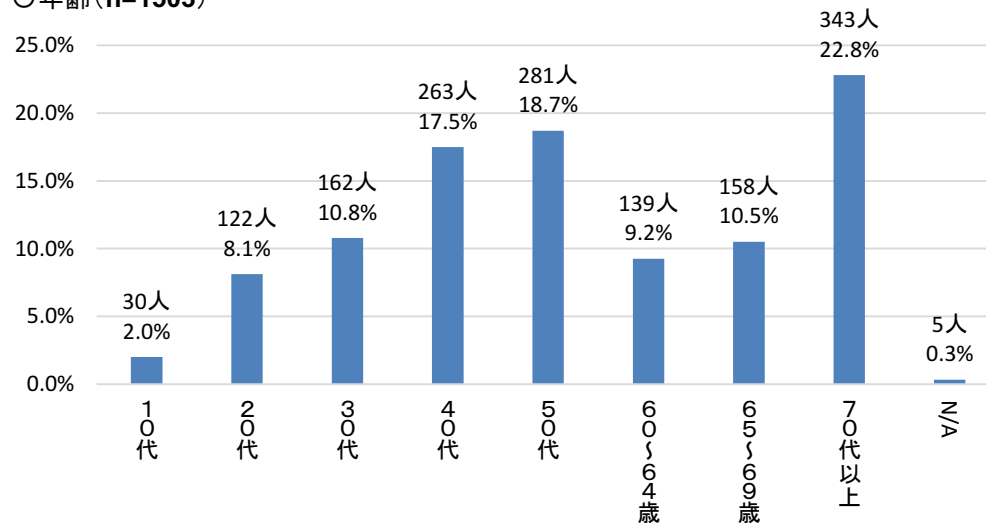
- 調査対象：満**18歳**以上の焼津市民
- 抽出方法：無作為抽出
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 調査期間：令和**3年1月25日**（月）～**2月8日**（月）
- 配布数：**2,000部**
- 回収数：**1,503部**
- 有効回答率：**75.2%**

1 あなた(回答者)ご自身のことについて

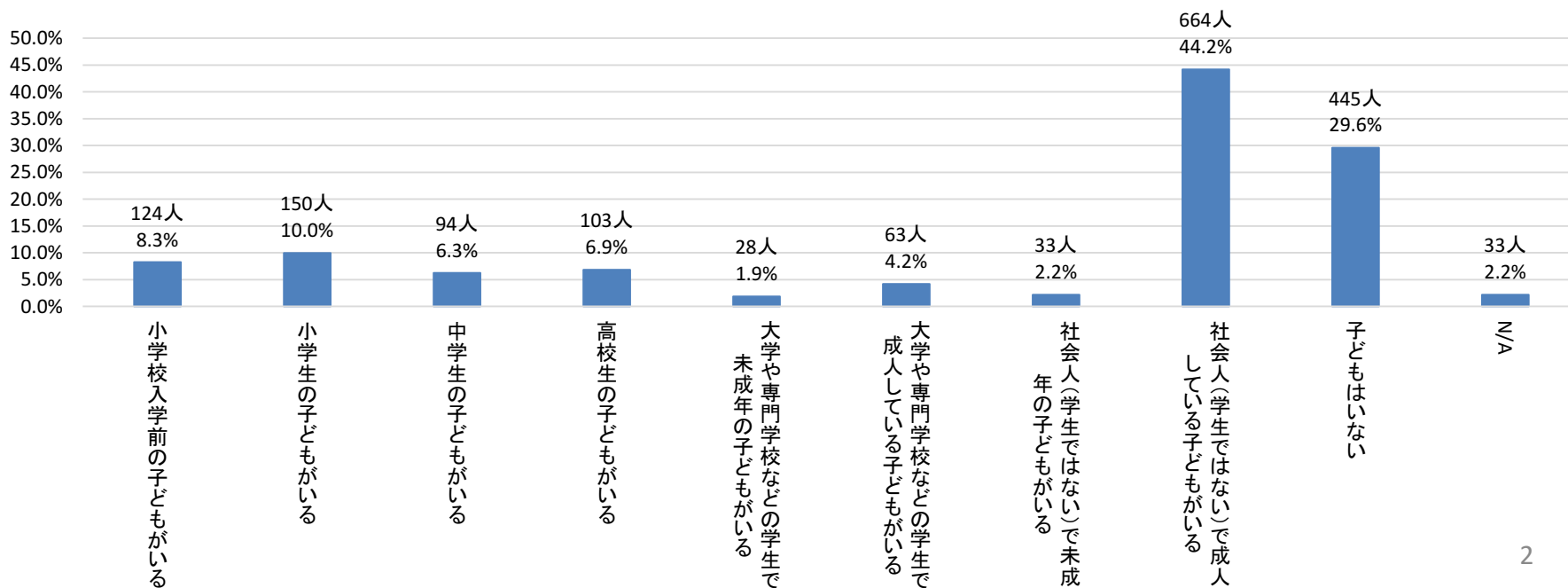
○性別(n=1503)



○年齢(n=1503)



○子供について(MA、n=1503)



1 あなた(回答者)ご自身のことについて

○職業 (n=1503)

| | 度数 | 有効% |
|----------|-----|-------|
| 農林漁業 | 21 | 1.4% |
| 自営業 | 81 | 5.5% |
| 自由業 | 10 | 0.7% |
| 経営・管理職 | 39 | 2.6% |
| 事務職 | 154 | 10.4% |
| 専門・技術職 | 114 | 7.7% |
| 教育職 | 40 | 2.7% |
| 作業・技能職 | 209 | 14.1% |
| 販売・サービス業 | 128 | 8.7% |
| 主(夫)婦A | 43 | 2.9% |
| 主(夫)婦B | 163 | 11.0% |
| 学生 | 45 | 3.0% |
| その他 | 155 | 10.5% |
| 無職 | 277 | 18.7% |
| N/A | 24 | |

・職業「その他」

- ・NPO理事長
- ・webディレクター
- ・介護福祉士 など

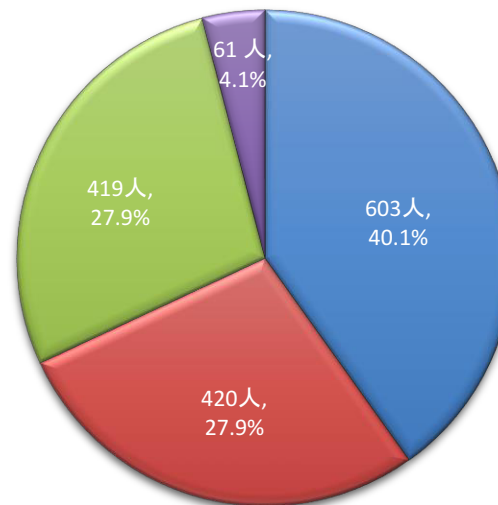
・雇用形態「その他」

- ・内職
- ・業務委託 など

○雇用形態 (n=1503)

| | 度数 | 有効% |
|----------------------------|-----|-------|
| 正規の職員・従業員 | 507 | 34.7% |
| 派遣社員 | 29 | 2.0% |
| パート・アルバイト | 302 | 20.6% |
| 役員 | 37 | 2.5% |
| 自営業主(雇人あり) | 24 | 1.6% |
| 自営業主(雇人なし) | 53 | 3.6% |
| 家族従業者(自営業主の家族でその事業に従事している) | 33 | 2.3% |
| 仕事はしていない | 438 | 29.9% |
| その他 | 40 | 2.7% |
| N/A | 40 | |

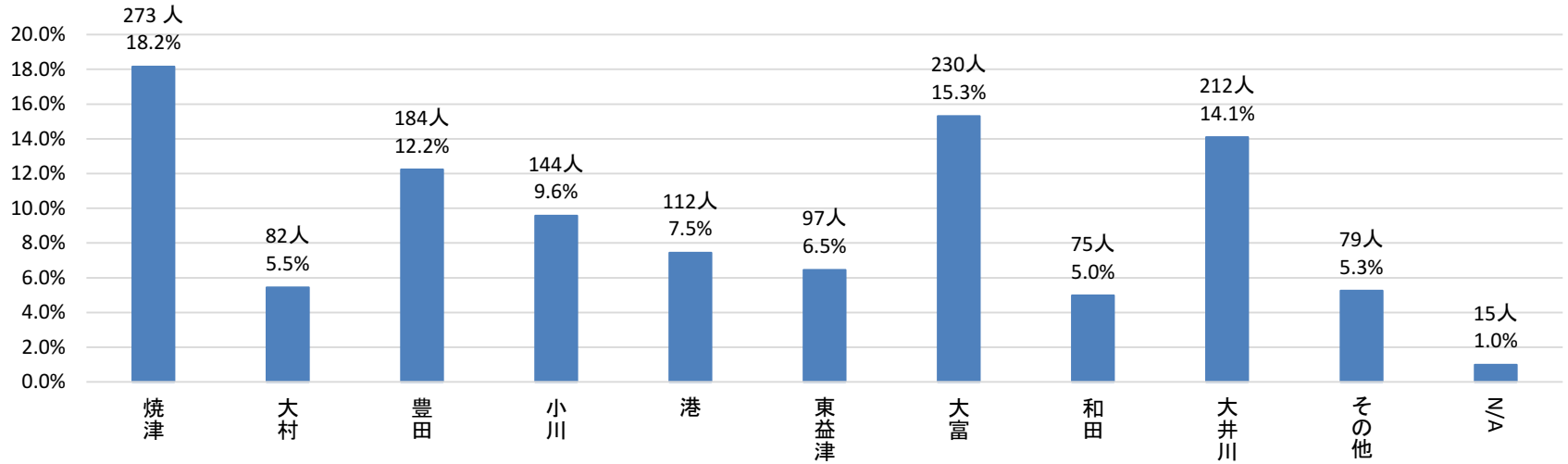
○勤務地 (n=1503)



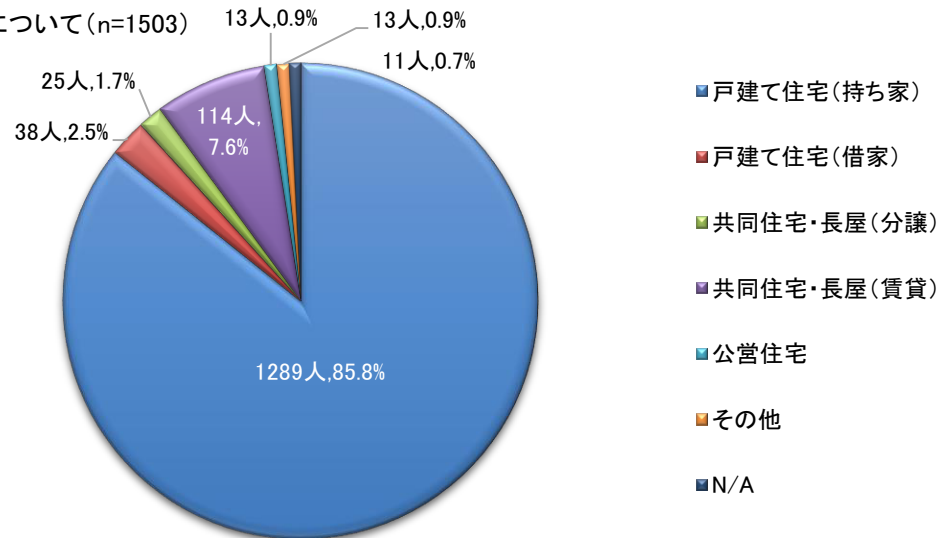
■市内 ■市外 ■働いていない ■N/A

1 あなた(回答者)ご自身のことについて

○居住地について(n=1503)

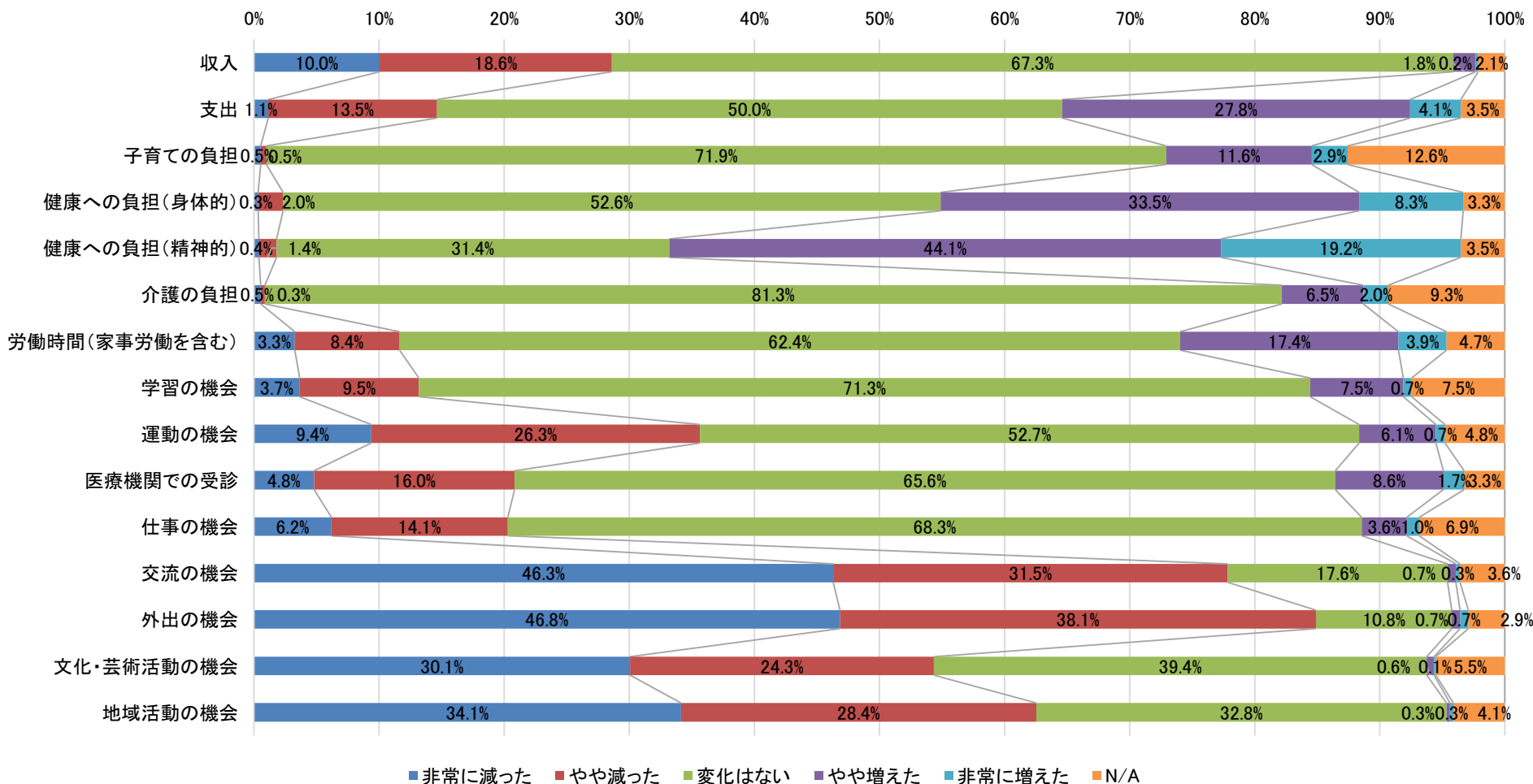


○住宅について(n=1503)



2. あなた(回答者)への新型コロナウイルス感染症の影響について

○【問1】回答者への新型コロナウイルス感染症の影響(n=1503)

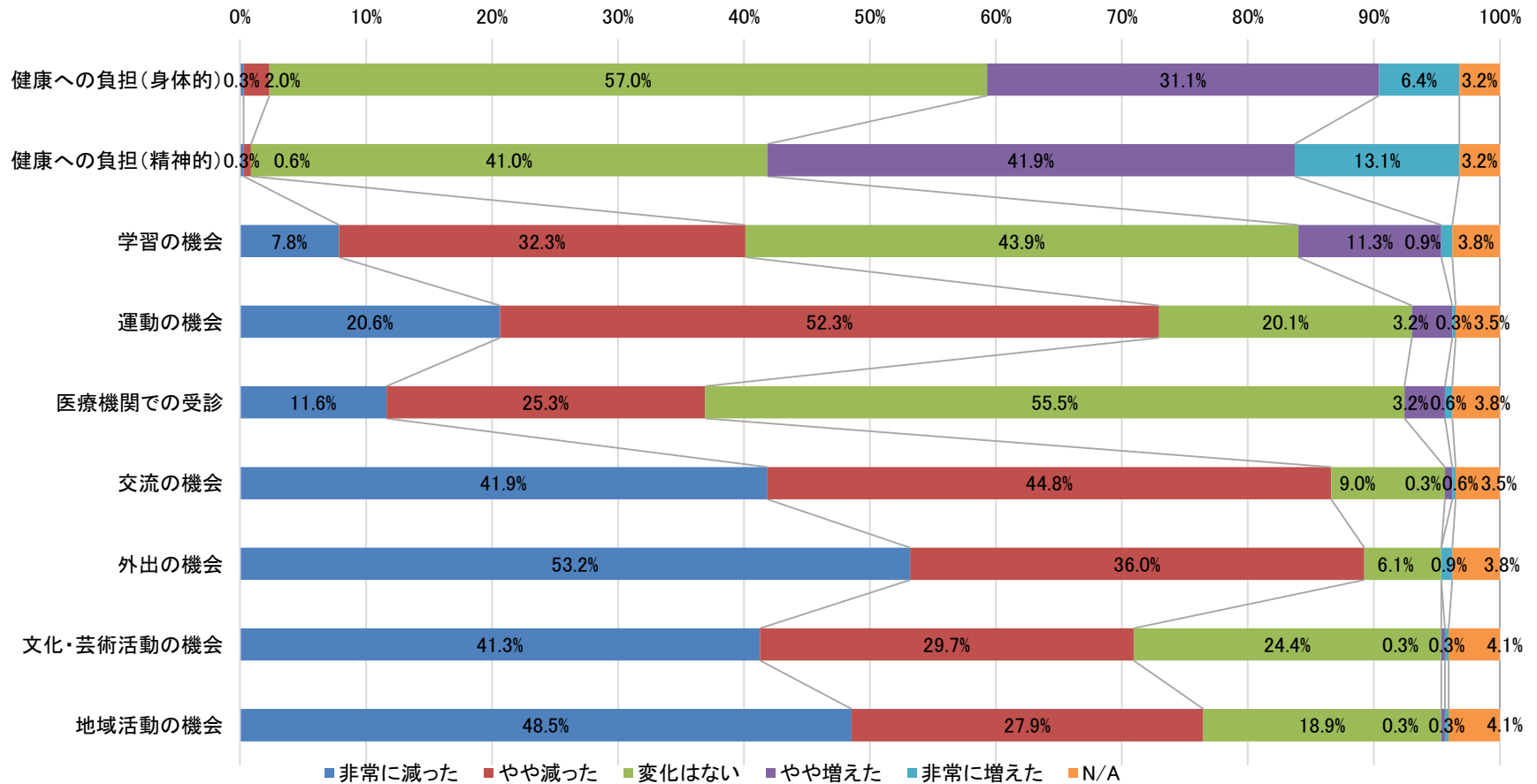


【概要】

- ・「収入」について、「変化はない」という回答が67.3%で最も多く、「減った(非常に減った+やや減った)」との回答は28.6%であった。
- ・「健康への負担(精神的)」について、「増えた(非常に増えた+やや増えた)」との回答は63.3%を占めた。
- ・「交流の機会」の減少は77.8%、「外出の機会」の減少は84.9%、「文化・芸術活動の機会」の減少は54.4%、「地域活動の機会」の減少は62.5%との回答であった。

3. 子ども(高校生以下)への新型コロナウイルス感染症の影響について

○【問2】子ども(高校生以下)への新型コロナウイルス感染症の影響(n=344)



【概要】

- ・「健康への負担(精神的)」が「増えた」との回答が55.0%であった。
- ・「学習の機会」は「変化なし」が43.9%、「減った」が40.1%であった。
- ・「運動の機会」は「減った」との回答が72.9%であった。
- ・「交流の機会」の減少は86.7%、「外出の機会」の減少は89.2%、「文化・芸術活動の機会」の減少は71.0%、「地域活動の機会」の減少は76.4%との回答であった。

4.新型コロナウイルス感染症の拡大による施策の緊急度について

○【問3】あなた(回答者)にとってどの分野の緊急度が高まっているか(n=1503)

・各分野の緊急度について、下記要領で平均値を算出した。

非常に高い5点 ~ やや高い4点 ~ どちらでもない3点 ~ やや低い2点 ~ 非常に低い1点

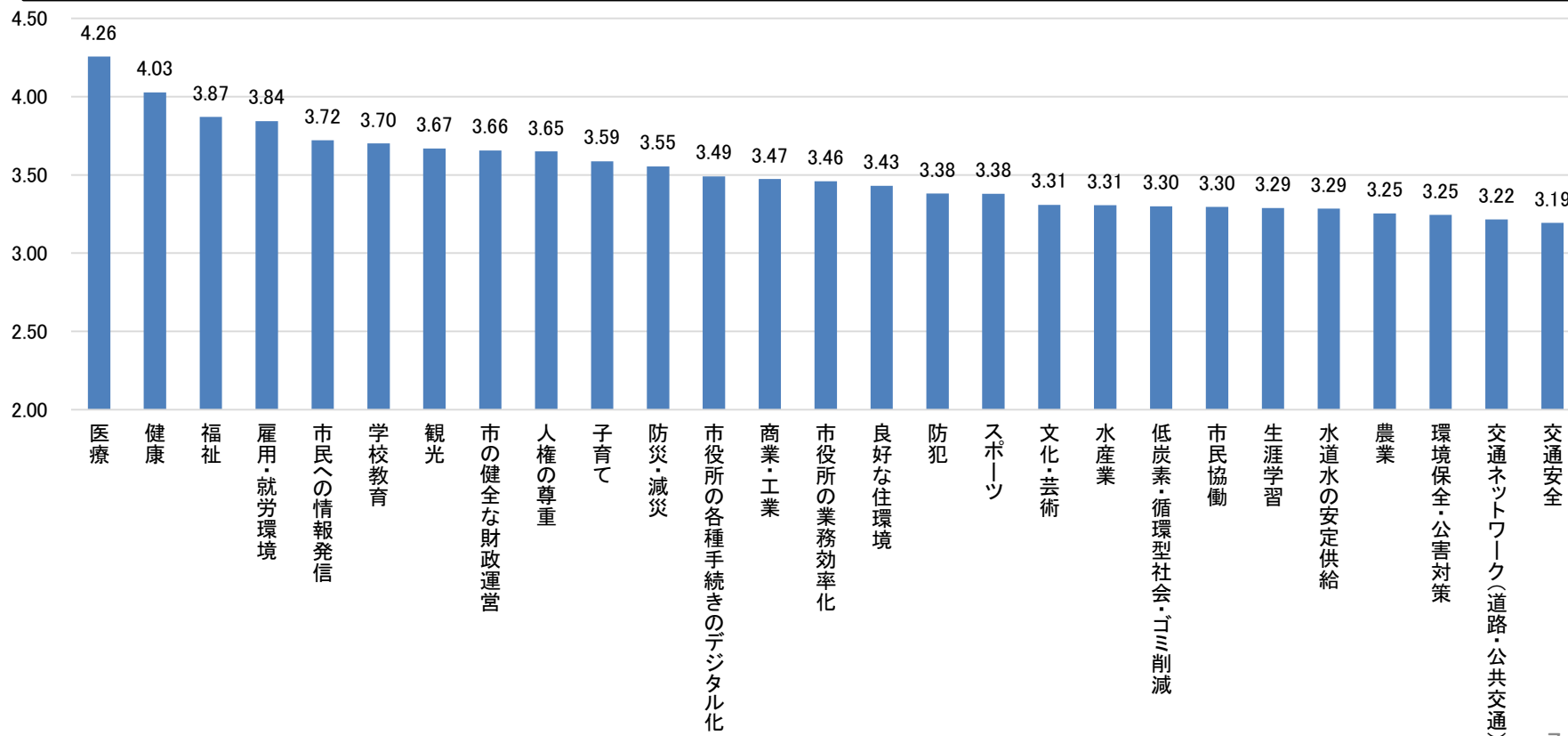
【概要】

・下記の項目については**平均値が高い結果**となった。

「医療」(4.26)、「健康」(4.03)、「福祉」(3.87)、「雇用・就労環境」(3.84)、「市民への情報発信」(3.72)、「学校教育」(3.70)

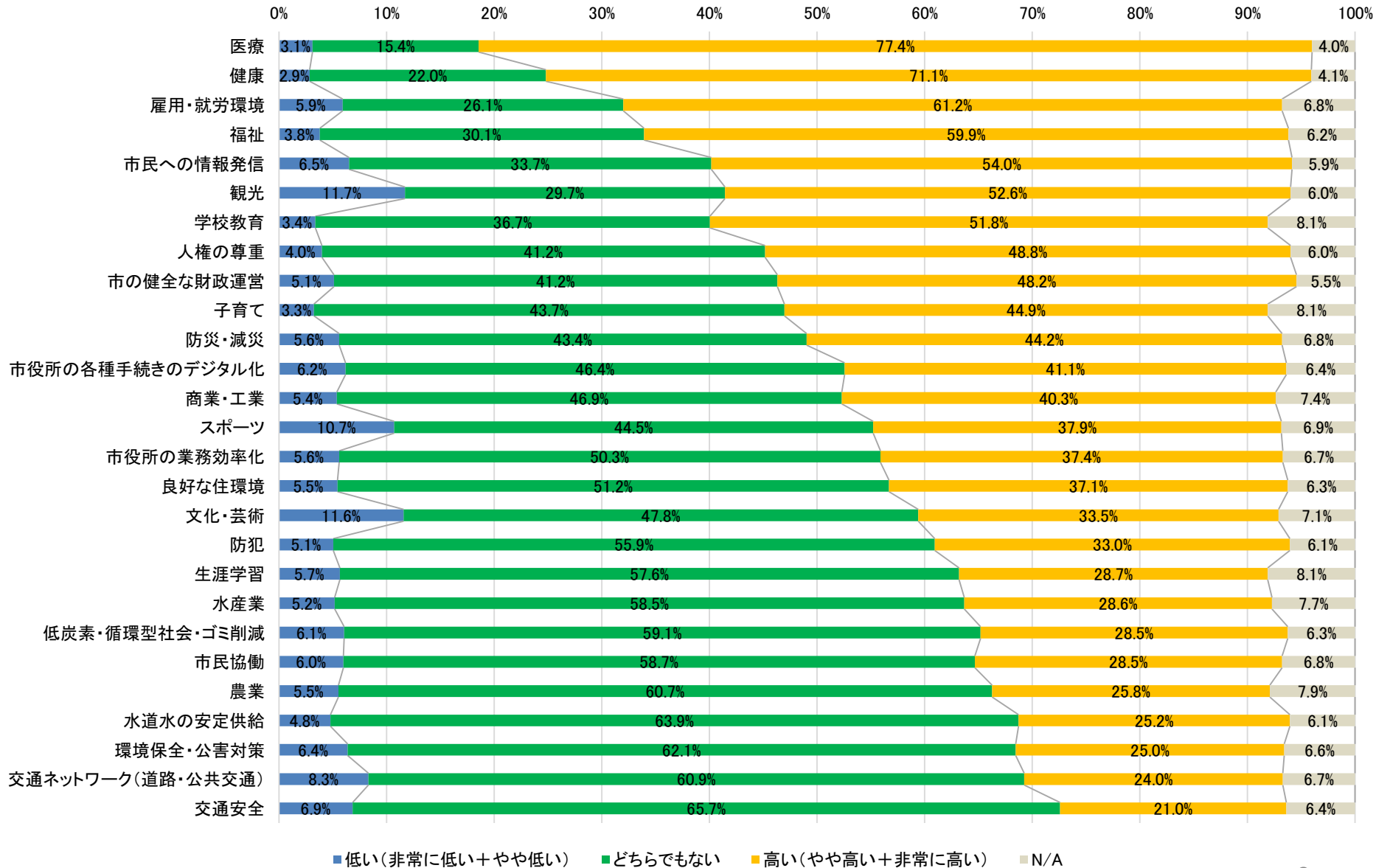
・下記の項目については**平均値が比較的低い結果**となった。

「交通安全」(3.19)、「交通ネットワーク」(3.22)、「環境保全・公害対策」(3.25)、「農業」(3.25)、「水道水の安定供給」(3.29)、「生涯学習」(3.29)



4.新型コロナウイルス感染症の拡大による施策の緊急度について

○【問3】あなた(回答者)にとってどの分野の緊急度が高まっているか(n=1503)



5.新型コロナウイルス感染症の収束後における施策の重要度について

○【問4】アフターコロナにおける将来の焼津市のまちづくりで重要度の高い分野(n=1503)

・各分野の重要度について、下記要領で平均値を算出した。

非常に高い5点 ~ やや高い4点 ~ どちらでもない3点 ~ やや低い2点 ~ 非常に低い1点

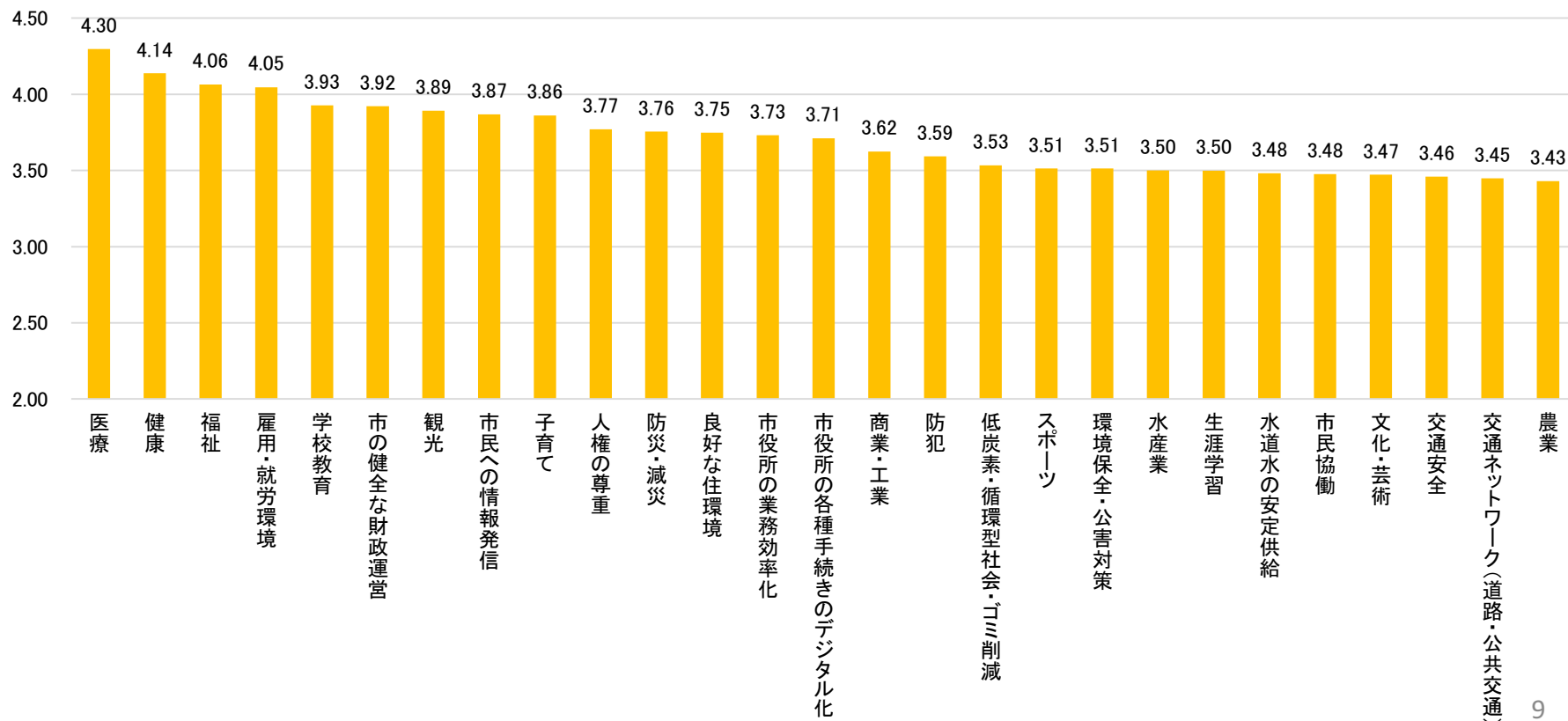
【概要】

・下記の項目については**平均値が高い結果**となった。

「医療」(4.30)、「健康」(4.14)、「福祉」(4.06)、「雇用・就労環境」(4.05)、「学校教育」(3.93)、「市の健全な財政運営」(3.92)

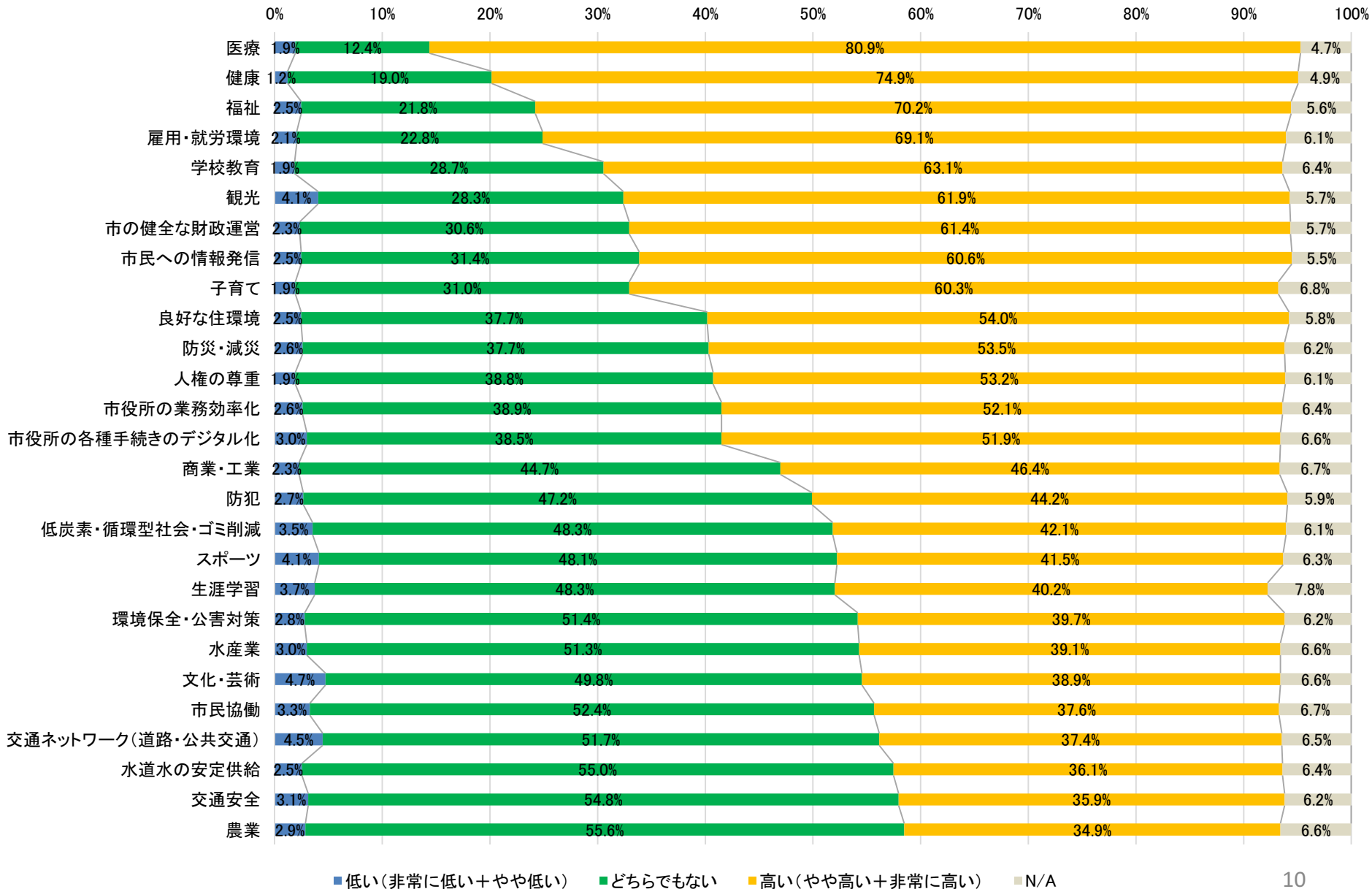
・下記の項目については**平均値が比較的低い結果**となった。

「農業」(3.43)、「交通ネットワーク」(3.45)、「交通安全」(3.46)、「文化・芸術」(3.47)、「市民協働」(3.48)、「水道水の安定供給」(3.48)



5.新型コロナウイルス感染症の収束後における施策の重要度について

○【問4】アフターコロナにおける将来の焼津市のまちづくりで重要度の高い分野(n=1503)

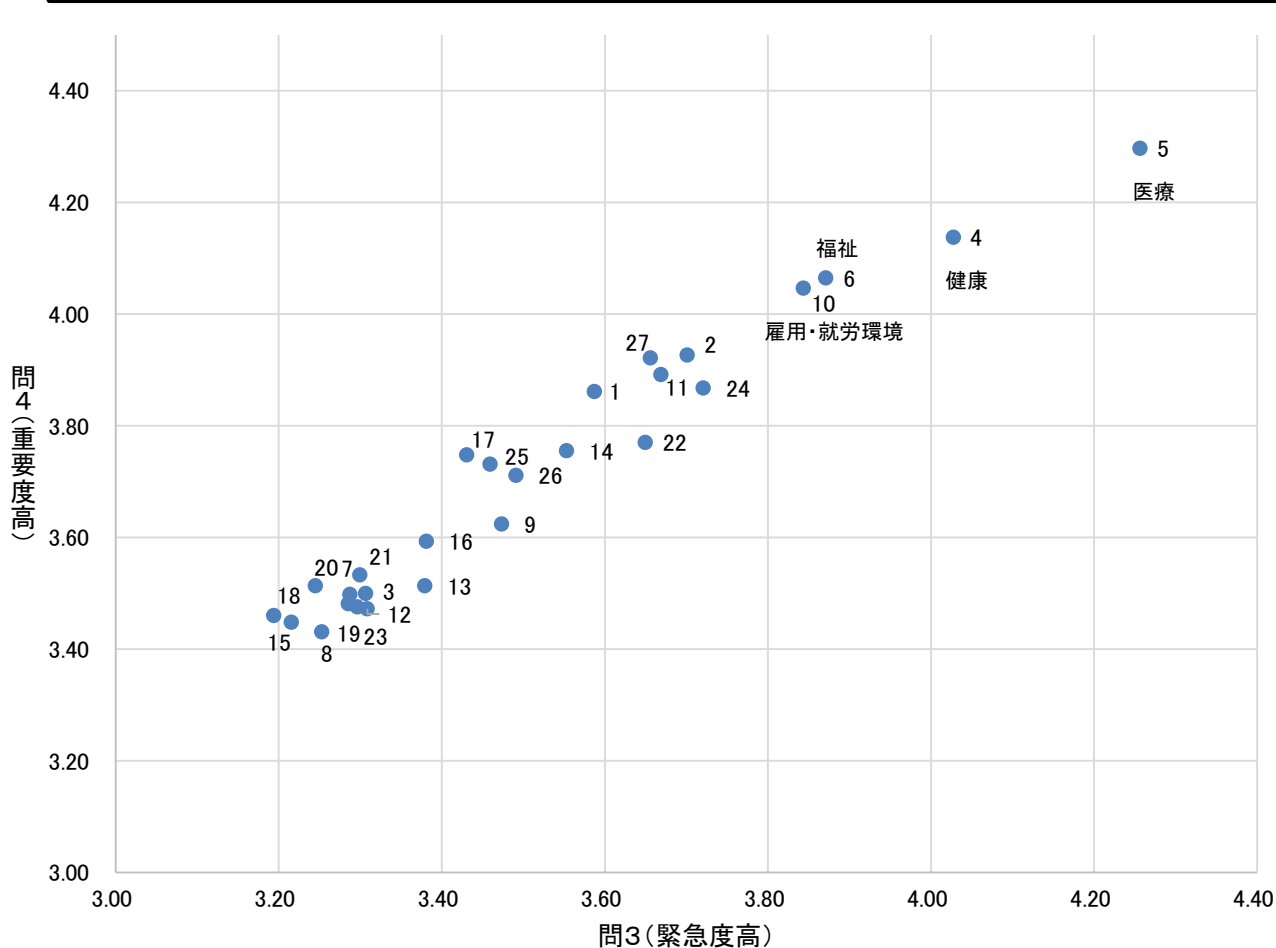


5.新型コロナウイルス感染症の収束後における施策の重要度について

○コロナ禍で緊急度の高い施策(問3)とアフターコロナで重要度の高い施策(問4)の比較(n=1503)

【表の説明】・コロナ禍(問3)とアフターコロナ(問4)における施策の緊急度・重要度をグラフとして比較した散布図は次の通り。
 ・点の位置が右に行くほど緊急度が高く、上に行くほど重要度が高いことを示している。したがって、左上にある項目ほどコロナ禍での施策の緊急度は低い、アフターコロナでの施策の重要度が高いと捉えることができる。また、右下にある項目ほどコロナ禍での緊急度は高い、アフターコロナでの重要度は低いと捉えることができる。

【概要】 今回の調査では、極端に左上、もしくは右下に振れた項目はみられなかった。コロナ禍で重要とされた分野への取組は、アフターコロナにおいても引き続き重要な分野として取り組む必要があると考えられる。



| 項目番号 | 施策 |
|------|-------------------|
| 1 | 子育て |
| 2 | 学校教育 |
| 3 | 生涯学習 |
| 4 | 健康 |
| 5 | 医療 |
| 6 | 福祉 |
| 7 | 水産業 |
| 8 | 農業 |
| 9 | 商業・工業 |
| 10 | 雇用・就労環境 |
| 11 | 観光 |
| 12 | 文化・芸術 |
| 13 | スポーツ |
| 14 | 防災・減災 |
| 15 | 交通安全 |
| 16 | 防犯 |
| 17 | 良好な住環境 |
| 18 | 交通ネットワーク(道路・公共交通) |
| 19 | 水道水の安定供給 |
| 20 | 環境保全・公害対策 |
| 21 | 低炭素・循環型社会・ゴミ削減 |
| 22 | 人権の尊重 |
| 23 | 市民協働 |
| 24 | 市民への情報発信 |
| 25 | 市役所の業務効率化 |
| 26 | 市役所の各種手続きのデジタル化 |
| 27 | 市の健全な財政運営 |

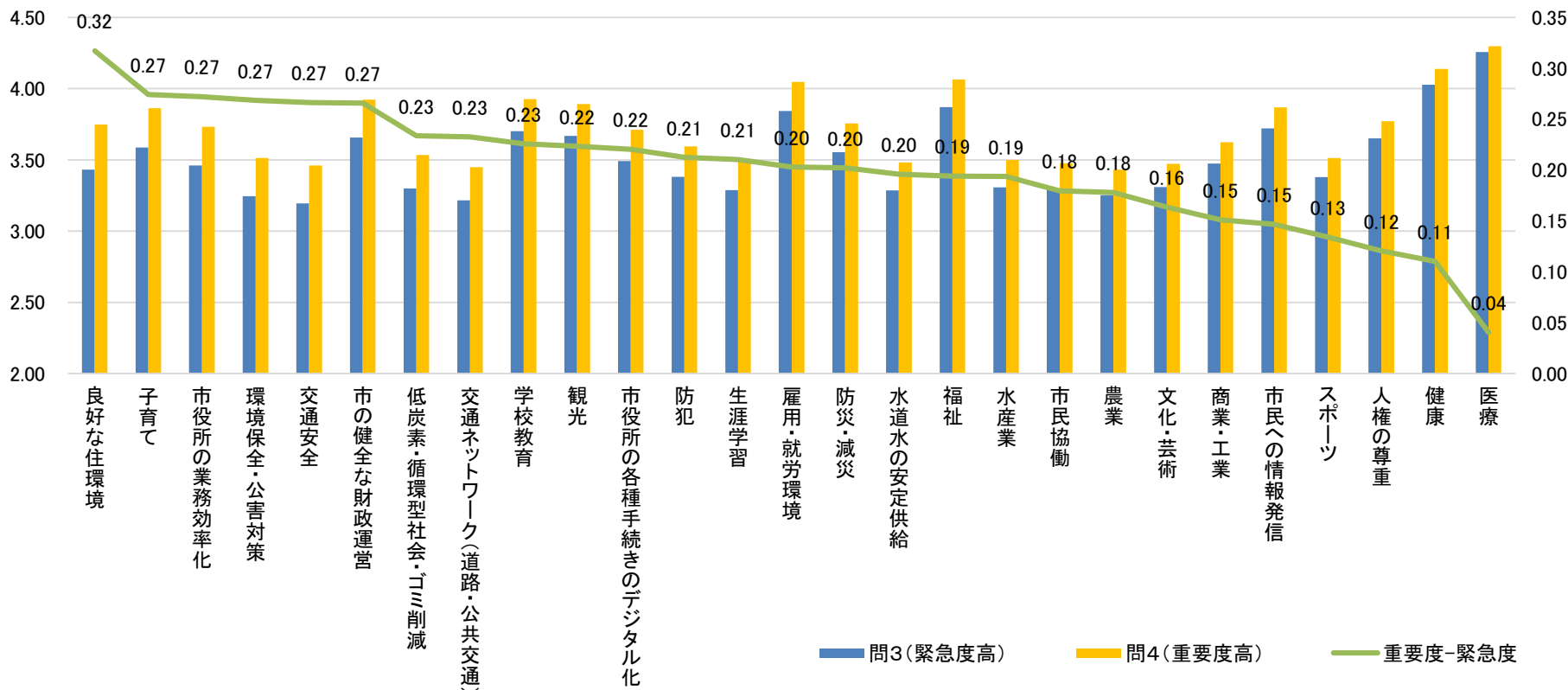
5.新型コロナウイルス感染症の収束後における施策の重要度について

○コロナ禍に緊急度の高い施策(問3)とアフターコロナ時に重要度の高い施策(問4)の比較(n=1503)

【表の説明】・コロナ禍(問3)P7とアフターコロナ(問4)P9のグラフを比較した結果は次の通り。折れ線グラフは、アフターコロナで重要度の高い施策(問4)の平均値から、コロナ禍で緊急度の高い施策(問3)の平均値を引いた値である。

【概要】

- ・すべての項目について、コロナ禍(問3)の平均値に比してアフターコロナ(問4)の平均値の方が高かった。
- ・差が大きかった順として、「良好な住環境」(0.32増)、「子育て」(0.27増)、「市役所の業務効率化」(0.27増)、「環境保全・公害対策」(0.27増)、「交通安全」(0.27増)、「市の健全な財政運営」(0.27増)、「交通安全」(0.27増)、「市の健全な財政運営」(0.27増)」であるが、特筆すべき大きな差は確認できなかった。



6.これからの時代において、焼津市が取り組むべき事業

○【問5:課題1】産業・雇用への対応(MA、n=1503)

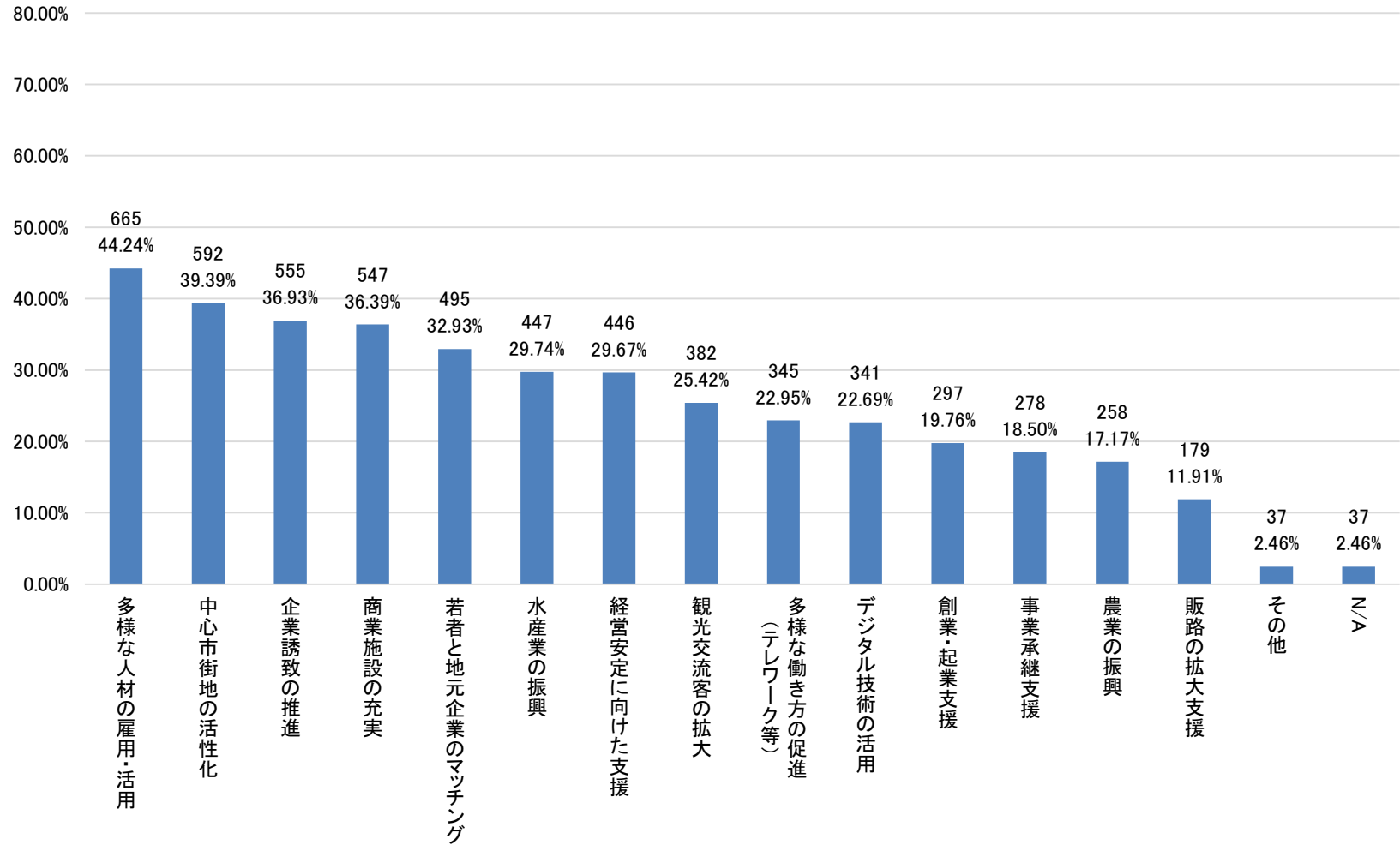
| | 度数 | 有効% |
|-------------------|-----|--------|
| 多様な人材の雇用・活用 | 665 | 45.36% |
| 中心市街地の活性化 | 592 | 40.38% |
| 企業誘致の推進 | 555 | 37.86% |
| 商業施設の充実 | 547 | 37.31% |
| 若者と地元企業のマッチング | 495 | 33.77% |
| 水産業の振興 | 447 | 30.49% |
| 経営安定に向けた支援 | 446 | 30.42% |
| 観光交流客の拡大 | 382 | 26.06% |
| 多様な働き方の促進(テレワーク等) | 345 | 23.53% |
| デジタル技術の活用 | 341 | 23.26% |
| 創業・起業支援 | 297 | 20.26% |
| 事業承継支援 | 278 | 18.96% |
| 農業の振興 | 258 | 17.60% |
| 販路の拡大支援 | 179 | 12.21% |
| その他 | 37 | 2.52% |
| N/A | 37 | |

【概要】

- ・上位にあがった項目として、「多様な人材の雇用・活用(45.36%)」、「中心市街地の活性化(40.38%)」、「企業誘致の推進(37.86%)」、「商業施設の充実(37.31%)」、「若者と地元企業のマッチング(33.77%)」であった。
- ・「その他」には、企業誘致や商業施設の充実に類する回答が多くみられた。

6.これからの時代において、焼津市が取り組むべき事業

○【問5:課題1】産業・雇用への対応 (MA、n=1503)



6.これからの時代において、焼津市が取り組むべき事業

○【問5:課題2】健康で生きがいを持てるまちへの対応(MA、n=1503)

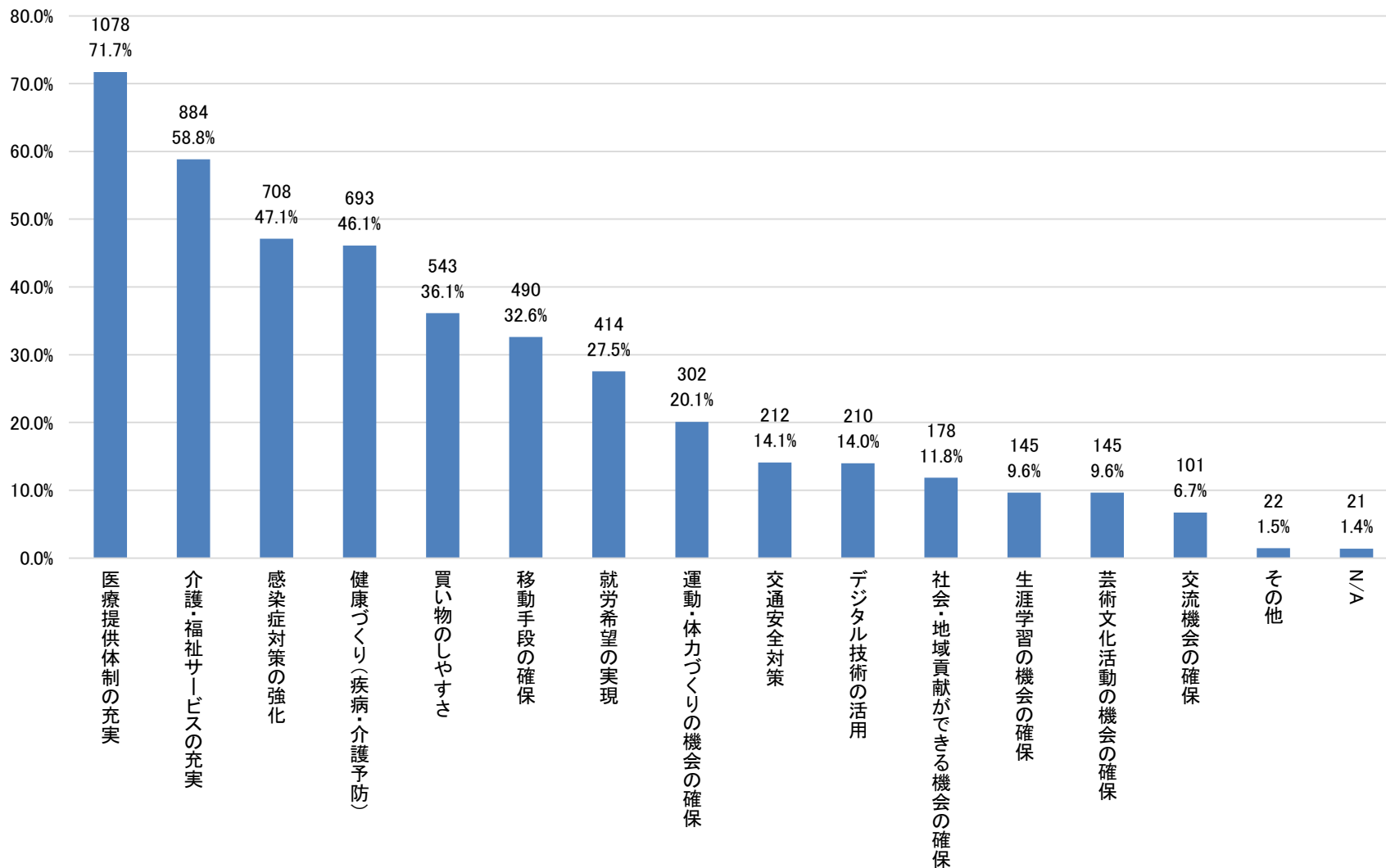
| | 度数 | 有効% |
|------------------|------|-------|
| 医療提供体制の充実 | 1078 | 72.7% |
| 介護・福祉サービスの充実 | 884 | 59.6% |
| 感染症対策の強化 | 708 | 47.8% |
| 健康づくり(疾病・介護予防) | 693 | 46.8% |
| 買い物のしやすさ | 543 | 36.6% |
| 移動手段の確保 | 490 | 33.1% |
| 就労希望の実現 | 414 | 27.9% |
| 運動・体力づくりの機会の確保 | 302 | 20.4% |
| 交通安全対策 | 212 | 14.3% |
| デジタル技術の活用 | 210 | 14.2% |
| 社会・地域貢献ができる機会の確保 | 178 | 12.0% |
| 生涯学習の機会の確保 | 145 | 9.8% |
| 芸術文化活動の機会の確保 | 145 | 9.8% |
| 交流機会の確保 | 101 | 6.8% |
| その他 | 22 | 1.5% |
| N/A | 21 | |

【概要】

- ・上位にあがった項目として、「医療提供体制の充実(72.7%)」、「介護・福祉サービスの充実(59.6%)」、「感染症対策の強化(47.8%)」、「健康づくり(疾病・介護予防)(46.8%)」、「買い物のしやすさ(36.6%)」であった。
- ・「その他」には、公共交通機関の充実や買い物しやすさに関する意見が目立つ。

6.これからの時代において、焼津市が取り組むべき事業

○【問5:課題2】健康で生きがいを持てるまちへの対応(MA、n=1503)



6.これからの時代において、焼津市が取り組むべき事業

○【問5:課題3】人口減少社会への対応(MA、n=1503)

| | 度数 | 有効% |
|--------------------|-----|-------|
| 子育て支援 | 802 | 54.5% |
| 働く場の創出 | 795 | 54.0% |
| 移住・定住者への支援 | 588 | 40.0% |
| 防災・減災対策 | 579 | 39.4% |
| 妊娠・出産への支援 | 540 | 36.7% |
| 多様な人材が活躍できる地域社会の実現 | 466 | 31.7% |
| 学校教育の充実 | 457 | 31.1% |
| 市のPR・移住相談の強化 | 375 | 25.5% |
| 良質な住宅地の形成 | 323 | 22.0% |
| 子ども・若者が地元を知る機会の創出 | 301 | 20.5% |
| 出会い・結婚サポート | 247 | 16.8% |
| 地域コミュニティの活性化 | 235 | 16.0% |
| デジタル技術の活用 | 183 | 12.4% |
| 近隣自治体との連携 | 133 | 9.0% |
| その他 | 45 | 3.1% |
| N/A | 32 | |

【概要】

- ・上位にあがった項目として、「子育て支援(54.5%)」、「働く場の創出(54.0%)」、「移住・定住者への支援(40.0%)」、「防災・減災対策(39.4%)」、「妊娠・出産への支援(36.7%)」であった。
- ・「その他」では、移動手段の確保や調整区域の解除などに関する回答がみられた。

6.これからの時代において、焼津市が取り組むべき事業

○【問5:課題3】人口減少社会への対応(MA、n=1503)

